

INPEA 日本国会員各位殿

大変御無沙汰いたしておりますが、皆様におかれましては、益々ご健勝のことと拝察申し上げます。

さて、INPEA（国際高齢者虐待防止ネットワーク）の活動も世界会長リア・ダイチマン（アルゼンチン）を中心に大きく発展してきております。皆様には、すでに INPEA 会員の入会申込書上でご紹介しましたが、INPEA は 2003 年 6 月に国際連合の助言機関として承認されました。益々の活動が期待されます。本日は、その INPEA の活動の一端をダイジェスト版（日本語）No.2 としてお伝えさせていただきます。

1. 【去年 11 月にフロリダ州オーランドで開催された GSA（米国老年学会）】

毎年 1 回、11 月に行われる米国老年学会（GSA）は、昨年は、計画ではニューオーリンズ市で開催される予定でしたが、ハリケーン・カトリーナの影響で、急遽フロリダ州オーランド市で開催されました。日程は変更されず、2005 年 11 月 19 日（土曜）～11 月 22 日（水）まで開催されました。

その GSA で毎年行われております高齢者虐待に関する Interest group の会合である、“Interest Group on the Elder Abuse, Neglect, and Exploitation”に、私（塚田）も参加してきました。過去 4 回連続して参加しておりますが、今年の参加者の数は最大時で 26 名でした。以下に、その GSA の高齢者虐待に関する Interest group の会合の様子を写真でご紹介いたします。



<GSA の Interest Group on the Elder Abuse, Neglect, and Exploitation の会場にて-No.1>



<GSA の Interest Group on the Elder Abuse, Neglect, and Exploitation の会場にて-No.2>

2. 【International Conference on Elder Abuse 仮称：国際高齢者虐待学会）について】
さて、前回のダイジェスト(No.1)で、ハイライト・ニュースとしてお伝えしておりました、**2006年**に、アメリカのマイアミ市（フロリダ州）で、”International Conference on Elder Abuse”（仮称：国際高齢者虐待学会）が開催されるという世界会長からのアナウンスについてですが、残念ながら諸々の事情で開催されないことになったそうですので、皆様に御報告いたします。

3. 【GSA（米国老年学会）における高齢者虐待に関する日本からの発表】

淑徳大学社会学部教授多々良紀夫先生（INPEA アジア地域会長）が、“Findings of Japan’s First Nationwide Study of Domestic Elder Abuse along with their Public Policy Implications”という題目で、厚生労働省が実施した全国家庭内高齢者虐待に関する調査について、そして、日本の高齢者虐待防止に関する立法の動きについて口頭発表されました。以下は、その時の写真です。



<GSA 11月21日（月）Adult Protection and Elder Abuse セッションにて>

4. 【去年 6 月にブラジルで開催された World Congress of Gerontology】

去る 6 月 26 日（日）～30 日（木）の 5 日間、ブラジル共和国リオ・デジャネイロ市で、世界老年学会が開催されました。私も Elder Abuse の会合に参加してきましたが、あいにく、自分の発表と重なり、最初の 15 分しか会合に参加できませんでした。会場には、世界会長リア・ダイチマン氏、INPEA 世界副会長エリザベス・ポドニクス氏、INPEA 事務局長スーザン・ソマーズ氏等をはじめとする各国の代表が、10 名位集まっておられました。

5. 【2006 年の 6 月 15 日は World Elder Abuse Awareness Day

（仮称：世界高齢者虐待を考える日）】

今年 6 月 15 日の「世界高齢者虐待を考える日」に向けて、INPEA から出されたフライヤーの日本語訳をしたものを添付ファイルで送付させていただきました。ご査収の程よろしくお願い申し上げます。日本は、アメリカ、韓国に続く、高齢者虐待に関する法律を持つ世界でたった 3 カ国しかない国の一つです。日本のリーダーシップが望まれています。

実は、昨年 12 月にアメリカワシントン D. C. で開かれた、10 年に一度開催される White House Conference に参加された多々良紀夫先生（INPEA アジア地域会長）によると、この 2006 年 6 月 15 日の World Elder Abuse Awareness Day（仮称：世界高齢者虐待を考える日）の世界のイベントのキックオフは日本が担当することになったそうです。世界に先駆けて当日、淑徳大学池袋キャンパスでイベントが開催される予定です。詳細が決まりましたら、また、ご案内申し上げます。6 月 15 日（木）のスケジュールを今から開けておいていただき、より多くの INPEA の会員の皆様のご参加をいただけますと幸甚です。

末筆になりましたが、INPEA（国際高齢者虐待防止ネットワーク：URL は <http://www.inpea.net/>）の入会は無料です。皆様の同僚・ご友人をどうぞご紹介ください！

それでは、今、風邪やインフルエンザが流行っております。皆様、どうかくれぐれも御自愛下さいますように。皆様の益々のご成功を心より祈念いたしております。

INPEA 日本国事務局 塚田 典子
日本大学大学院グローバル・ビジネス研究科
ntsukada@gsb.nihon-u.ac.jp